

あみだによらい ほとけ
阿弥陀如来という仏さま



真教寺の阿弥陀さま

〜限りない仏さま〜
浄土真宗の本尊は、阿弥陀如来です。阿弥陀とは、インドの言葉「アミターバ」（無量光）および「アミターユス」（無量寿）の「アミタ」（無量）を音写した言葉です。つまり阿弥陀如来とは、無量の光と無量の寿の仏さま、ということです。
無量光とは、空間的無限で、どんな場所にもその救いは届いている。また、無量寿とは、時間的無限で、どんな時代にもその救いは届いている、という徳をあらわしている。いつでもどこでもの阿弥陀さま。

〜まかせなさいの南無阿弥陀仏〜
「南無阿弥陀仏」を「名号」といいます。名号とは名前という意味です。つまり南無阿弥陀仏は、阿弥陀如来のお名前のことです。
親鸞聖人は、南無阿弥陀仏とは「この阿弥陀に帰依しなさい、まかせなさい」という、阿弥陀如来から私に向かってくるよびかけであると、あきらかにしてくださいました。



真教寺のお内仏

しんぎょうじくらぶ
真教寺倶楽部
浄土真宗本願寺派(西本願寺)
〒811-1222 筑紫郡那珂川町下梶原2-8-1
TEL 092-952-2429
千部山 真教寺
住職 井上 敦之

第3号
平成25年5月

〜人間の一番うつくしい姿(すがた)が手を合わすこと(合掌)がっしょう(ご)です。それは、このいのちに、唯一(ゆいつ)、御礼(おれい)を申せる姿であります〜
それは、いのち(人生)の方向が定まるといふこと。ご往生された大切な方々は、このいのち(人生)の道しるべ。



『ひかりといのち きわみなき 阿弥陀ほとけを 仰がなん』(『しんじんのうた』より)

みんなのお寺です。お寺にお参りしましょう。

お寺ステーション

真教寺世話人総会が開催されました。

先般、4月12日(金)午前11時より、『真教寺・世話人総会』が開かれました。門徒総代様を中心に、各地区世話人様(17名中、14名のご出席)にご参集いただき、平成24年行事・決算・監査報告、平成25年行事計画・予算等について、慎重に審議され、承認がなされました。真教寺・ご門徒の皆様には、決算書・予算書を書面でのご報告とさせていただきます。



世話人紹介…
今回は、五郎丸地区の世話人さんです



藤崎さん



みんなのお齋をいただいております



みんなの靴も合掌してます



「まんまん茶房」
『なかがわキッズサンガ』の紹介をさせていただきます。
『なかがわキッズサンガ』とは、那珂川町内8ヶ寺の寺院が共同で開催している子どもの集いです。年に3回(春・夏・冬休みに開催)、会場を巡回し開催しています。今年で6年目(現在、17回開催)に入ります。子どもたちが、阿弥陀さまと出遇える環境を、僧侶スタッフ・会場となる門信徒スタッフを中心に取り組んでいます。
真教寺では、2回の開催をしました。前回(2012年12月27日)は、『子ども報恩講』。午前中に仏讃(おつとめ・法話)をし、昼食は、報恩講ということで、お精進でのお齋(食事)。子どもの集いの食事といえは、カレーライスが定番ですが、ご準備くださった真教寺仏教婦人会の方々が、子どもたちに喜んでもらえるようにと、試行錯誤してご準備してくださいました。そのお心遣いは、とてもあたたかく、有り難いことでした。また、午後はレクリエーションの時間として、カルタ大会と凧作り。お寺横の安徳南公園で、凧あげ大会となりました。凧を上げる苦労より、となりの凧と絡み合った凧糸をほどく苦労が多かったかな…。
巡回開催ということで、那珂川町の地域に根ざした活動となりつつあります。各寺院の門信徒にとどまらず、地域全体に広がる活動として、この『なかがわキッズサンガ』が、子どもたちや地域を結び、尊いご縁となっています。
阿弥陀さまお慈悲の中に、浄土真宗の土徳・お念仏の薫る地域を目指して、これからもみんなで取り組んで参りたいと思います。(副住職)

